

国際力動的心理療法学会　第 26 回年次大会

大会テーマ

不可能を可能にする瞬間　―心のミクロな変化を捉える―

Make the Impossible Possible: The Moment of Micro-Change Dynamics in Psychotherapy

｜日時｜
2020 年 11 月 21 日(土) ― 23 日(月・祝)

｜場所｜神戸市産業振興センター
(兵庫県神戸市中央区東川崎町 1 丁目 8-4)

大会 WEB サイト
https://www.26annual.iadp.info/

― 第 2 号 通 信 ―

世界が新型コロナウイルスの問題で、人類の危機に直面しています。

各国が他国からの出入国を断つことで、我々はグローバライゼーションから
ローカライゼーションへの転換を求められています。

マクロのパンデミックな状況を、ミクロの個人の生産性と創造性へと転換する時です。

学会に来てくださる予定の国内外の著名な先生方は、このような状況にもかかわらず、
快く本大会へのご協力をお引き受けいただいております。

本学会の開催がさらに意義あるものになるよう、現在の危機対応も含め、
プログラムの充実を図っていきます。

このような時だからこそ、新たな臨床技法をみいだしていきましょう。

我々が一同に集まるときに備え、今は個々の力を備える時です。

「不可能を可能にする瞬間」を皆さんとともにできることを楽しみにしております。

第 26 回大会　学術プログラム委員会委員長　中村　有希

IADP International Association of Dynamic Psychotherapy

大 会 ス ケ ジ ュ ー ル

＊状況に応じて、オンラインでの開催、プログラム変更の可能性がございます。変更の場合は、大会ホームページを通じてお知らせいたします。

■ 大会 1 日目：2020 年 11 月 21 日(土)

10:00 – 10:15	開会式
10:15 – 11:15	大会会長講演　永山　智之（兵庫教育大学講師／PAS 心理教育研究所客員研究員） 「日本の大人は「青年」を愛せるのか？―2 択の問いで量子論的世界を楽しむ―」
11:30 – 12:30	教育ワークショップ(不安相談/コロナ対応) 花井俊紀（PAS 心理教育研究所／野の花カウンセリングオフィス）
14:00 – 17:00	エドワード・ピニー特別記念ワークショップ　― LIVE 面接 ―「不可能を可能にする瞬間」 オーガナイザー　：小谷英文（PAS 心理教育研究所理事長） セラピスト　　：Ralph Mora（個人開業／メリーランド大学） コメンテーター　：張達人(天主教仁慈醫療財團法人仁慈醫院院長)
17:30 – 20:00	懇親会

■ 大会 2 日目：2020 年 11 月 22 日(日)

9:30 – 12:00	市民公開プログラム「危機と災害トラウマからの回復」 講演・対談：岡野憲一郎先生(京都大学大学院教育学研究科教授) 「揺らぎの視点から見たトラウマ」 小林和先生(精療クリニック小林院長) 「危機、生きる知恵を手に入れるとき」
12:00 – 13:00	交流会
13:00 – 14:00	大会基調講演　Seth Aronson(ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所トレーニング・ディレクター) “The Confused and Confusing Patient: Projective identification in the treatment of difficult patients”
14:15 – 18:15	ワークショップ 小谷 英文 ・ 髭 香代子 ・ 橋本 和典 ・ 能 幸夫 ・ 宇佐美 しおり・Ralph Mora ・ Seth Aronson

■ 大会 3 日目：2020 年 11 月 23 日(月・祝)

9：30 – 11:30	事例研究・事例報告・研究サポート
12:30 – 14:30	事例スーパーヴィジョン
14:30 – 16:30	全体ケースセミナー　コンダクター：小谷英文 / 発表者：永山智之
16:30 – 16:45	閉会式

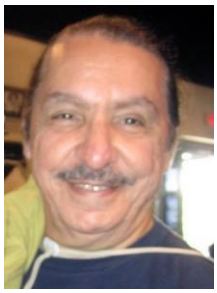
エドワード・ピニー 特別記念ワークショップ

—LIVE 面接— トップの臨床家の面接に触れよう！

国際力動的心理療法学会の年次大会では、本学会共同創立者の故エドワード L ピニー博士を記念し、毎大会、博士の名を冠した講演を行っております。今大会では、昨年に引き続き、拡大版としてエドワード・ピニーを記念した特別ワークショップを開催します。

2 人のマスターセラピストに実際に面接を行っていただきます。力動的心理療法・精神療法の面接をライブで体験することで、力動的な理解・技術・態度を直接学ぶことができます。最後は参加者全員でこの体験をもとにした活発な議論と対話を行います。

マスターセラピスト



ラルフ・モラ Ph.D.(個人開業/メリーランド大学)

アデルファイ大学において臨床心理学の博士号を取得。アメリカ陸軍戦略大学およびテキサス A&M 大学において卒業研究を完成させた。長年、兵士の PTSD 治療、戦地に向かう軍人・兵士の子どもたちやその家族への心理的対応、子どもの PTSD 治療に精力的に取り組んでいる。2014 年にアメリカ国防総省での仕事を引退し、現在はメリーランド大学の非常勤教授を務め、また山口県岩国市にて個人開業を行う。



小谷 英文 Ph.D. (PAS 心理教育研究所理事長)

国際力動的心理療法学会共同創立者、現理事長。アデルファイ大学ダーナー高等心理学研究所、ニューヨーク大学医学部卒後集団精神療法コースで訓練を積む。困難患者とされる人々への心理療法・集団精神療法が専門。1970 年代アメリカの現代精神分析とシステムズ理論を持って帰国し、精神分析的システムズ理論(PAS 理論)を打ち立て、現在に至るまで臨床・研究・理論構築を一体に常に取り組み続けている。

コメンテーター



張達人(Ta-jen Chang)M.D.(天主教仁慈醫療財團法人仁慈醫院 Catholic Mercy Hospital , Catholic Mercy Medical Foundation 院長)

国際集団精神療法集団過程学会および台湾心理療法協会の元理事、中国集団精神療法学会の元会長。ここ数年、人格障害の患者への対象関係論、特にカーンバーグの理論の臨床適用を行っている。対面による個人および集団精神療法だけでなくオンライン面接も提供。また若手の臨床家のスーパーヴィジョンにも力を注いでいる。

研究発表・研究サポート/事例スーパーヴィジョン

申し込み手続き

▶演題を募集します！

IADP 第 26 回年次大会では、以下のプログラムに関して演題を募集します。

1）研究発表	**2020 年 11 月 23 日（月・祝）**	**9:30–11:30**	**p5,6 参照**
2）研究サポート	**2020 年 11 月 23 日（月・祝）**	**9:30–11:30**	**p7 参照**
3）事例スーパーヴィジョン	**2020 年 11 月 23 日（月・祝）**	**12:30–14:30**	**p8 参照**

演題発表　申込み手続き

発表を希望される方は、「演題登録用紙」に必要事項を記入して、大会事務局までメールにてお送りください。演題登録用紙は、大会ウェブサイト（http://www.26annual.iadp.info）からダウンロードすることができます。後日、大会事務局より「研究発表要項」および「発表要旨テンプレート」をお送りします。「研究発表要項」は、大会ウェブサイトからご覧いただけます。なお、各発表は「発表要旨受理の審査」によって受理された順に定員になり次第締切となります。お早めに申込ください。

発表までのスケジュール

	締　切	内　容
①	～2020 年 7 月 20 日（月）	●演題登録：登録用紙の提出
		●「研究発表要項」および「発表要旨テンプレート」の受取
		〈発表要旨の作成〉
②	2020 年 7 月 31 日（金）	●研究発表　発表要旨の提出
③	2020 年 7 月 31 日（金）	●事例スーパーヴィジョン　発表要旨の提出
		●発表要旨受理の審査
		●審査結果の通知　〈提出後約 2 週間～1 ヶ月〉
④	2020 年 9 月 30 日（水）	●最終発表要旨の提出
⑤	2020 年 11 月 23 日（月）	●当日発表

▼演題登録用紙送り先
国際力動的心理療法学会
第 26 回年次大会事務局
E-mail:
office26@26annual.iadp.info

注記　・全ての発表は、該当関係団体の倫理規定、法律に則って行われたという条件の下で受理いたします。

・研究助成金等による臨床研究発表は、研究助成金名や、研究に際し支援・協力を受けた団体・個人についても、必要に応じて「付記」として記入ください。

・企業・法人組織等からの補助や援助（金額は問いません）を受けている場合、または、応募演題に関係する企業の被雇用者が共同研究者に含まれる場合は、その事実を明記してください（利益相反の公開義務）。なお、公的な研究助成金 等（科研費等）は利益相反の申告事項には含まれませんが、助成がある場合には、発表時に公開することとします。

研 究 発 表 ・ 演 題 募 集

日常の臨床を研究し、更なる研究に繋ぎましょう！

研 究 発 表

IADP の 研 究 発 表

「心理療法は事例研究に始まり、事例研究に終わる。」心理療法に関する能力を高めていくには、事例研究が欠かせません。クライアントの心理療法プロセスはそのクライアントの事例研究となります。IADP では、心理療法の臨床実践と研究を分けず、臨床を研究することを積極的に取り組んでいます。

良い事例報告はそのまま事例研究に通じていきます。今取り組んでいる臨床事例を研究したいと思っているけど、どう研究していいかわからないという方、まずはその事例の事例報告から始めてみませんか？ 事例研究で明らかになったことをより実証的に調査的に研究するリサーチも広く募集しています。

皆さんの日々の臨床にある面白い変化、面白い力動、効果的な技法・技術の発見などを IADP で発表し、積極的に議論しましょう！

国際力動的心理療法学会第 26 回年次大会「臨床研究発表」要領

以下の形式で発表要旨を作成してください。

1. 臨床研究発表分野について

1)「事例報告」

事例報告（Case Report）とは、心理・看護・教育・福祉などの臨床領域における心理療法、あるいは、危機介入や治療過程における力動的理解・分析にもとづいた介入（看護領域における看護面接、治療面接を含む）（以下、「力動的介入」とする）による事例の臨床検討報告を指す。報告の主な目的は、クライアントおよび患者の内的体験を、その事実資料に基づき可能な限り再構成することである。以下の構成でまとめられ、臨床蓄積事例として価値の認められるもの、あるいはその領域の今後の研究展開に対する促進的意義の認められるもの。事例報告の構造は以下のとおりである。

①問題（はじめに、序、問題の所在と背景）

事例性の同定とその特異性あるいは、類似性の確認および検討課題を特定化し、その背景、今日共有されている理論的理解や先行研究の知見もレビューできると良い。検討課題は、以下の要点を、心理療法および力動的介入過程の重要な変数とした事例全体の理解の追及と共に特定化すること。

ⅰ）病理、心理力動、人格機能・構造、人格発達

ⅱ）家族、友人、集団、環境社会関係、およびセラピストとの関係

ⅲ）心理療法／力動的介入理論、治療過程、治療技法、セルフケア看護技法、教育対話手法

②目的

特定化した検討課題を軸に、以下の諸点を包含し、構成的に簡潔にまとめる。

ⅰ）何をどこまで検討しようとするのか

ⅱ）それをどのように検討しようとするのか

ⅲ）そのための理論や仮説はどのようなものか

③事例資料

目的手順にそって、提示資料を体系的に構成して示す。

ⅰ）事例性：提示事例の選定理由、資料性を示す条件の確認

ⅱ）資料内容：目的によって必要なもののみの構成提示

例）主訴、臨床像、治療理論／治療仮説／治療計画、治療構成（構造、契約等）／治療技法、治療展開過程（臨床事実）、治療的成果（臨床的変化の事実）

④分析、考察

目的を軸に、資料の厳密な分析と考察を展開し、決して資料にフィードバックできない根拠のない考察に及ばないこと。

⑤結論と今後の課題／展望

結論は、事例資料の検討により明らかになったことと、残された問題の両側面を出来るだけ簡潔にまとめる。問題として、掲げたテーマについての研究展開の展望を書く。

2)「事例研究」

事例研究（Case Study）とは、心理・看護・教育・福祉などの臨床領域における心理療法、看護手法、教育手法、あるいは危機介入や治療過程における力動的介入による事例を用いて、臨床的、学術的な研究蓄積に貢献するものを指す。事例研究の基本構造は、以下のとおりである。

①問題（はじめに、序、問題の所在と背景）

研究課題の現段階までの先行研究のレビューに基づくテーマの設定と、どこまで明らかにするかの課題の同定を行う。研究テーマは、大きく3つの領域に分かれる。

ⅰ）病理、心理力動、人格構造・機能、人格発達

ⅱ）家族、集団、社会心理の構造とメカニズム

ⅲ）心理療法、教育手法、看護手法あるいは力動的介入についての理論・過程・技法

②目的および研究意義

特定化した検討課題を軸に、以下の諸点を包含し、構成的に簡潔にまとめる。

ⅰ）何をどこまで明らかにしようとするのか

ⅱ）それをどのように明らかにしようとするのか

ⅲ）そのための基盤理論や、新たな仮説構成はどのようなものなのか

ⅳ）研究意義と展望はどういうものか

③方法・手順

研究目的を達成するための方法と手順を明示する。

④事例資料

目的手順にそって、提示資料を体系的に構成して示す。事例資料内容は、事例報告とは異なり、目的によって必要なもののみ構成提示することが求められる。

⑤分析、考察

理論および仮説構成をふまえ、研究目的を軸に資料の厳密な分析と考察を展開すること。

⑥結論と今後の課題／展望

結論は、明らかになったことと残された問題の両側面をできるだけ簡潔にまとめ、それに基づいた研究の次のステップとさらなる展開の展望を整理する。

3)「リサーチ」

ここでの「リサーチ」とは、心理療法、力動的介入、精神分析的な主題に関する実証、調査研究を指す。追試、探索的研究、効果研究、質問紙研究を含め、研究蓄積に貢献するもの。

「リサーチ」の基本構造は、大きくは、上記2分野と重なるために、簡単に示す。

①問題　②目的　③方法・手順　④理論/概念枠組みおよび作業仮説　⑤結果　⑥ 考察　⑦結論と今後の課題

2. 臨床研究発表の留意点

1)事例資料の守秘性

事例資料の入手法および守秘性に関する処置を明確にしてください。また、事例の実施された機関における研究発表規則（倫理審査委員会の認定等）と法律に則って行われたという条件の下で受理いたします。

2)研究助成金等

研究助成金等による臨床研究発表は、研究助成金（研究助成番号や）や、研究に際し支援・協力を受けた団体・個人についても、必要に応じて「付記」として記入ください。

企業・法人組織等からの補助や援助（金額は問いません）を受けている場合、または、応募演題に関係する企業の被雇用者が共同研究者に含まれる場合は、その事実を明記してください（利益相反の公開義務）。なお、公的な研究助成金等（科研費等）は利益相反の申告事項には含まれませんが、助成がある場合には、発表時に公開することとします。

3）共同発表者

共同発表者がいる場合は、発表要旨をご提出される前に、内容の確認を行ってください。

3. 発表要旨の作成

1）要旨は発表言語（日本語もしくは英語）で作成してください。日本語で作成した場合、発表タイトル、発表者、所属については英語でも記載してください。

2）日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 500 語以内で作成してください。

3）要旨には、引用文献、画像、表、図、グラフや付録を載せないでください。

4）前述の募集テーマを、キーワード選択の際の参考にしてください。

5）要旨は、前述の3分野の研究構造にそって簡潔にまとめてください。「結論は、当日に示す」等の曖昧な表現は、避けてください。

4. 発表要旨の送付先

テンプレートに沿ってご準備いただいた要旨を下記の大会事務局のアドレスにメールで添付してお送りください。

お送りいただく際には、必ず添付書類にパスワードをかけて送信をお願い致します。

▶大会事務局アドレス：office26@26annual.iadp.info

5. 提出期限 ： 2020 年 7 月 31 日（金）

6. 要旨の受理と発表

1)大会査読委員会が事例要旨を精査し、1 ヶ月程度で発表者に結果を通知します。

2)受理された事例要旨は、当日配布される抄録集に掲載されます。なお、受理された場合は、2020 年 9 月 30 日（水）まで修正が可能です。修正をされたい方は、 期日までに大会事務局のアドレスに修正版をメールに添付してお送り下さい。

研 究 サ ポ ー ト

あなたの研究を先に進めるサポートをします！

内容・申込み手続き

第 26 回年次大会では、臨床研究発表の時間に並行して研究初心者のための「研究サポート」を開催します。

「研究サポート」では、研究を始めたい臨床事例や面白いと思った事例の場面を元に、そこからどのような研究を始められるか、事例理解の整理をしながら、変数関係とテーマの特定化の手助けが得られます。この研究サポートを起点に、次年度以降の IADP 年次大会での事例報告・事例研究へとつなげていきましょう。

臨床経験年数は問いません。研究を始めたいと思うけれども、どのように始めていいかわからない研究初心者の方、「研究サポート」をご活用ください。

定　員　2 名（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。）

時　間　60 分

申込方法　参加申込書に必要事項を記入の上、大会事務局まで送付してください。

申 込 受 理 の 流 れ

以下の様式に沿って 2 点資料を作成し、事前に提出してください（抄録には掲載しません。）

i. 事例概要（定性データ・主訴・問題・臨床像・家族構成・来談経緯・事例経過・処方のオリエンテーション・取り組みたい研究テーマを含む）を日本語で 1000 字以内で作成してください。

ii. 発表事例について、発表者が面白いと思う場面・事例に特徴的な場面・事例の力動的特徴を表している場面について、 面接や対話の逐語（最大 10 やりとり程度）を作成してください。

注：発表者は、事例の発表について、該当関係団体の倫理規定、法律に則って準備を進めてください。
不明な点がありましたら、大会実行委員会学術プログラム委員会にお問い合わせください。

事 例 ス ー パ ー ヴ ィ ジ ョ ン

事例 SV 発表要項

事例に関与し、生きた臨床から学びましょう！

国内・海外のマスターセラピスト、第一線で活躍するセラピストおよび CNS による事例スーパーヴィジョンを受けたい方を募集します。以下のスーパーヴァイザーのキーワードを参考に、希望スーパーヴァイザーをお選びください。 発表は日本語もしくは英語のいずれかとなります。

海外のセラピストからスーパーヴィジョンを受けたい場合、英語での発表を歓迎します。日本語で発表する場合でも発表要旨は英語で作成していただきますので、ご留意ください。英語での発表要旨作成に関してご心配な点がございましたら、大会事務局までご相談ください。

スーパーヴァイザー

◆牛島 定信先生（ホヅミひもろぎクリニック院長）：力動的精神医学、精神療法、パーソナリティ障害、うつ病など　2 事例(1 時間)募集

◆鑓 幹八郎先生（ふたばの里精神分析研究室室長／広島大学名誉教授／京都文教大学名誉教授）
力動的心理療法、思春期・青年期、男性の成熟性・親密性　1 事例(2 時間)募集

◆セス・アロンソン先生（ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所トレーニング・ディレクター：アメリカ）：思春期・青年期・集団精神療法など
ラルフ・モラ先生（個人開業 ／ メリーランド大学）：力動的心理療法、子ども・家族、PTSD など　各先生それぞれ 1 事例(各 1 時間)募集(日英)

◆宇佐美 しおり先生（四天王寺大学教授、熊本大学名誉教授）：セルフケアセラピィ、セルフケアプログラムなど　2 事例(各 1 時間)募集

◆張 達人先生（天主教仁慈醫療財團法人仁慈醫院院長）：パーソナリティー障害など　1 事例(2 時間)募集(英)

国際力動的心理療法学会 26 回大会 「事例スーパーヴィジョン」発表要

以下の様式に沿って事例スーパーヴィジョン資料を作成してください。

1. 発表要旨の作成

i. 要旨は発表言語（日本語もしくは英語）で作成してください。日本語で作成した場合、発表タイトル、発表者、所属については英語でも記載してください。

ii. 日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 500 語以内で作成してください。

iii. 要旨には，引用文献、画像、表、図、グラフや付録を載せないで下さい。

iv. 事例要旨は，以下の様式でご提出ください。

①事例要旨の題名（20 語以内）、②著者名と所属、 ③発表の目的、④事例の診断あるいは心理アセスメ ント、⑤治療計画、⑥事例概要（定性データ・処方のオリエンテーション・臨床像・家族構成・来談経緯・ 事例経過を含む）、⑦検討ポイントの呈示（「当日発表する」というような不明瞭な表現は避けてください。）、⑧キーワード 3 つまで。

v. 下記の項目をキーワード選択の際の参考にしてください。 発達位相（幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期、 老年期）、病態水準（神経症水準、人格障害水準、精神病水準）、性別（男性、女性）、診断、査定、技法、セッティング（外来、入院／病院、教育機関他）、力動的心理療法／個人心理療法／集団精神療法／コンバインドセラピィ、トラウマ、PTSD、うつ、転移、抵抗、 ワーキングスルー、精神看護、セルフケア、リエゾン精神看護

2. 送付先

お送りしたテンプレートに上記様式に沿ってご記入頂き、下記の大会事務局のアドレスまでメールで添付してお送りください。添付資料には必ずパスワードを掛けていただきますよう、お願い致します。

▸大会事務局アドレス ： office26@26annual.iadp.info

3. 提出期限 ： 2020 年 7 月 31 日（金）

注記：

・ 要旨をご提出される前に、共同発表者と内容の確認を行ってください。

・全ての事例検討発表は、該当関係団体の倫理規定、 法律に則って行われたという条件の下で受理します。

<要旨の受理と発表>

1. 事例選定審査委員会が事例要旨を精査し，2 週間程度で発表者に結果を通知します。

2. 受理された事例要旨は，当日配布される抄録集に掲載されます。なお、受理された場合は、2020 年 9 月 30 日（水）まで修正が可能です。修正をされたい方は、期日までに事務局のアドレスに修正版をメー ルに添付してお送り下さい。

解説　訓練ワークショップ

訓練とは？

臨床技法・技術、態度の“訓練”ができます！

訓練という言葉に馴染みがあるでしょうか？力動的心理療法を実践する上で必要な技法・技術や態度は、ただ理論を勉強したり、技法書・手順書を読むだけでは身につけることはできず、実際にその技法・技術や態度を繰り返し行い、身になじませ、鍛えていく訓練が必要です。自分のできなかった技法・技術や態度を繰り返しの訓練の中で身につけて臨床で実践できたときの心地よさはとても大きなものになります。日本のみならず国際的にもこの訓練を得られる機会は少ない中で、IADP の年次大会では毎年必ず“訓練”ワークショップを開催しています。会員もそうでない方も、初心者もベテランも分け隔てなく一同に集まって、技法・技術や態度を身につけていきます。仲間と共に自らの臨床を鍛えることの楽しさと厳しさをぜひ体験しましょう！

第 26 回年次大会では、それぞれのトレーナーの特色を活かした **7 つのワークショップ**を開催します。

詳細は、**7 月下旬にお届けする大会パンフレット**でお知らせします。楽しみにお待ち下さい。

解説　全体ケースセミナー

大会のクライマックス

大会 3 日間で身に付けたことを使おう！

全体ケースセミナーは、年次大会最後のクライマックスです。全員参加で一つの事例の理解を深め、発表者の臨床を前に進めることに挑戦します。発表者も参加者もベテランも初心者もファカルティも、それぞれが 3 日間の大会で学び訓練した知識・態度・技法や技術をフルに使って事例に向き合います。

ひとりひとりが一つのケースに対して最大限自分の臨床能力を使い、それぞれの仮説が会場を飛び交い、互いに刺激しあうことで、事例の理解が深まります。

ぜひ、この刺激的なケースセミナーにあなたも参加しましょう！

大会参加申込みについて

WEB にて情報更新！

2020 年 **7 月 末** 開 始 予 定

プログラムの内容、講演者・訓練トレーナーなどの詳細は、**7 月下旬発行の大会パンフレット**でお知らせいたします。

大会ウェブサイトに随時最新の情報を掲載いたします。

国際力動的心理療法学会第 26 回年次大会　大会事務局

Mail : office26@26annual.iadp.info

大会ウェブサイト　https://www.26annual.iadp.info/